授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
病態学Ⅲ（呼吸器系）	１年次	後期	1	15	有

科目責任者	常石大輝
授業概要	それぞれの器官に生じる疾患の原因や病気の成り立ちなどの特徴を肉眼・組織の写真と病態を表現したイラストを用いて学ぶ。
目標	１．呼吸器系の代表的な疾患について、発生の原因・症状・検査・治療について理解できる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	呼吸器系の構造と機能	担当講師	講義
2	症状と病態生理 １）自覚症状（咳嗽・喀痰・血痰・喀血・胸痛・呼吸困難） ２）他覚症状（チアノーゼ・ばち指・発熱・呼吸の異常・声の異常・いびき・意識障害）	担当講師	講義
3	呼吸器疾患に用いられる主な検査と治療 １）吸入療法　２）酸素療法　３）人工呼吸療法 ４）呼吸理学療法　５）気道確保　６）胸腔ドレナージ ７）呼吸器外科の手術（開胸術と肺切除・胸腔鏡手術）	担当講師	講義
4	肺疾患の理解と治療１ １）呼吸器感染症	担当講師	講義
5	肺疾患の理解と治療２ １）気道疾患 ２）呼吸調節に関する疾患	担当講師	講義
6	肺疾患の理解と治療３ １）間質性肺疾患 ２）肺血栓塞栓症	担当講師	講義
7	肺疾患の理解と治療４ １）肺・肺血管の形成異常 ２）胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 ３）肺移植 ４）胸部外傷（肋骨骨折・横隔膜破裂・肺損傷） ５）チームの一員としての看護師に望むこと	担当講師	講義
8	試験	担当講師	―

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門基礎分野 病態生理学　疾病の成り立ち地回復の促進②　医学書院
参考書	なし
評価方法・基準	試験（100%）